

令和4年度 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会

および 福井県管理河川 嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会

【議事概要】

日 時：令和4年6月6日（月）10時00分～10時55分

場 所：Web 会議 （メイン会場：福井県庁10F防災会議室）

<議事概要>

(1) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会

令和3年度の取り組み状況と令和4年度の取り組み予定について
水害対応タイムラインについて

(2) 福井県管理河川嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会について

令和3年度の取り組み状況および現5か年計画の総括について
福井県管理河川嶺北・嶺南ブロックの減災に係る取り組み方針の変更について

(3) 福井県管理河川嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会規約改正について

【資料説明】

○幹事会報告

説明は割愛し資料配付のみ。

○資料1-1

国協議会における令和3年度の取り組み状況および令和4年度の取り組み予定について、
福井河川国道事務所より説明。

防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

- ・小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展を実施。令和4年も引き続き実施。
- ・『わが家のぼうさいコンテスト』を実施。令和4年も引き続き実施。
- ・福井市中藤島地区にて「マイ防災マップ」と「マイ・タイムライン」ワークショップを実施。他の地区にて引き続き実施予定。（福井市河合地区、和田地区等）

○資料1-2

水害対応タイムラインについて、福井河川国道事務所より説明。

- ・災害時に、国、県、市町およびライフライン事業者等がとるべき行動を記す流域タイムラインについて、令和5年度を目標に作成。
- ・コミュニティタイムライン、マイタイムラインについて、各地区で出前講座等を開催す

るなど、作成を支援。

○資料2-1

県協議会における令和3年度の取り組み状況について、福井県土木部砂防防災課より説明。

<県の取り組み>

避難行動のための情報発信等

- ・浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画作成について、講習会実施等の支援を行った結果、概ね100%を達成。区域内の新規施設について計画作成を引き続き支援。また、今後は計画に基づく避難訓練の実施についても促進・支援。

ハザードマップの作成・周知等

- ・県管理河川の浸水想定区域の公表を受け、全市町が想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップを作成。

河川の安全対策

- ・嶺北ブロックでは、16河川の改修、吉野瀬川ダムの建設および4つの排水機場の老朽化対策を実施。
- ・嶺南ブロックでは、5つの河川で河川改修等を実施。
- ・嶺北・嶺南ブロックそれぞれの河川において、伐木・浚渫を実施。

避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・国と県合わせ、17箇所の河川監視カメラを増設。
- ・9箇所の危機管理型水位計を増設。

<市町の取り組み>

<小浜市>

水防体制の強化

- ・小浜市防災士の会が講演会・出前授業等を実施し、地域防災力の向上を図った。今後も継続して実施予定。

<勝山市>

防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充

- ・小中学校における総合学習や地区の避難訓練時に防災講座を実施し、地域住民へ災害のリスク等の周知を図った。今後も継続して実施予定。

<鯖江市>

地域における防災マップ作りの推進

- ・ 想定最大規模の洪水ハザードマップを作成・周知。
- ・ 市防災士会の協力を得て、地域防災マップの作成を支援。作成したマップは関係する自治会へ全戸配布。
- ・ 今後すべての自治会で地域防災マップを作成。

<福井市>

バザードマップの作成・周知等

- ・ 浸水想定区域内の地区と民間事業者との災害時における協定締結について支援。
- ・ 今後も、より多くの地区で一時避難場所を確保できるよう支援を継続予定。

<敦賀市>

洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実

- ・ 庁舎の建て替えに合わせ、防災拠点強化の機能として、非常用発電機等重要設備を高層階に設置。
- ・ 新たに近隣住民の一時避難所としての機能も拡充し、新たな非常用電源として自立型水素エネルギー供給システムも設置。

<大野市>

地域防災マップ作成支援

- ・ 市内6地区を対象とした、地域防災マップの作成支援を行い、地域防災力の向上を図った。今後も継続して実施予定。

<あわら市>

防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充。水防体制の強化

- ・ 防災出前授業、避難所設営の実技訓練、避難者の受け入れ訓練等について、あわら市防災士の会と共催。

<越前市>

ハザードマップの作成・周知等、地防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充。水防体制の強化

- ・ 市民参加によるワークショップを開催し、浸水箇所およびハザードマップの周知を図った。今後も継続して実施予定。
- ・ 市内主要箇所における浸水想定動画を作成し、動画配信サイトで公開。

<坂井市>

訓練・体制強化、水防資材備蓄確認

- ・ 坂井市総合防災情報システムを活用した職員参集・被害状況報告訓練を実施。
- ・ 水防資材の備蓄状態確認および河川等のパトロール体制の確認。

<池田町>

自主防災組織の活用・強化

- ・町内の全集落において、ご近所防災マップを作成し、地域防災力の向上および自助・共助の体制を強化。

<南越前町>

ハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模の洪水ハザードマップを作成・周知。

<越前町>

避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

- ・令和3年7月29日の大雨の際に、避難情報等に着目したタイムラインを活用し、避難指示情報を発令。

<高浜町>

水防体制の強化

- ・町内の自主防災組織への支援の拡充を実施。
- ・消防団、町職員および自主防災組織の参加のもと、水防訓練を実施。

<おおい町>

防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充

- ・防災専門員による防災教室（小学校）を実施。
- ・防災資機材の設営、設置訓練を実施。今後も継続して実施予定。

<若狭町>

避難行動のための情報発信等

- ・消防職員、消防団員、赤十字奉仕団、建設業界、住民および町職員による水防訓練を実施し、水防工法の知識および技術を習得。

○資料2-2

県協議会における現5か年計画の総括、課題について、福井県土木部砂防防災課より説明。

<主な実績>

- ・避難情報着目型タイムライン、要配慮者利用施設の避難確保計画、想定最大規模降雨対象のハザードマップ等、減災のためのツールの作成、整備が全市町において完了。
- ・県は、水位計、河川監視カメラの増設や河川改修、伐木・浚渫を推進。
- ・各市町において、庁舎受電設備等の浸水対策を推進、総合防災訓練へのポンプ車の派遣、県災害復旧アドバイザー派遣制度の活用を実施。

<課題>

- ・タイムライン防災について、より広域的な対応等につなげるため、市町に加え、国、県およびライフライン等関係機関の連携を検討。

- ・災害時において逃げ遅れゼロを目指すため、各地域内の『要支援者』に対する支援体制の強化。
- ・ハザードマップのより一層の認知度向上。
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施率は半数程度。県および市町が各施設に避難訓練の実施を促し、訓練を通じた計画の改善を促進。

○資料 2 - 3

県協議会における次期 5 か年計画の取り組み方針案について、福井県土木部砂防防災課より説明。

- ・国、県、市町および関係機関が連携して作成する流域タイムラインにおいて、台風の接近等が予測される場合に、関係者間でWeb会議を開催し危機感や情報を共有する取り組みを推進。
- ・国、県および市町が連携し、各地域におけるコミュニティタイムライン、マイタイムラインの作成やハザードマップを活用した避難訓練の実施を支援。
- ・新規開業した要配慮者利用施設に対し、市町から避難確保計画の作成を促し、必要に応じて県が講習会開催等を支援。避難訓練の好事例を収集し展開。
- ・雨量、水位、河川監視カメラ等の情報発信を充実。Web会議やドローンを活用した情報伝達訓練等を通じ関係者間の連携を強化。

○資料 2 - 4, 2 - 5

県協議会における次期 5 か年計画の取り組み方針（比較表、溶け込み版）について、福井県土木部砂防防災課より説明。

【情報提供】

○資料 3

洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について、福井河川国道事務所より説明。令和4年6月13日より運用開始予定。

○資料 3 - 2

避難所運営システムおよび防災マップ作成支援の取り組みについて、福井県安全環境部危機対策・防災課より説明。

【規約改正】

○資料 4

県協議会規約改正は、軽微な変更であるため説明は割愛し資料配布のみ。